

流通・加工

日綜産業・八日市事業所



軽仮設資材メーカー
 カー日綜産業(本社・東京都中央区、社長・小野辰雄氏)の八日市事業所(滋賀県東近江市、所長・桐原一郎執行取締役)は、操業開始から20年以上が経過。西日本エリアにおける仮設機材の中核製造・物流センターとして、時代に応じた機材の生産・販売、レンタルで対応してきた。最近では、先行手すり枠など安全機材の供給体制整備に注力。限られたスペースのなかでの効率化を図っている。(後藤 隆博)

製枠用アルミ手すり
 足場先行

製造販売・リースを強化

在庫整理推進 メンテ装備増設も検討



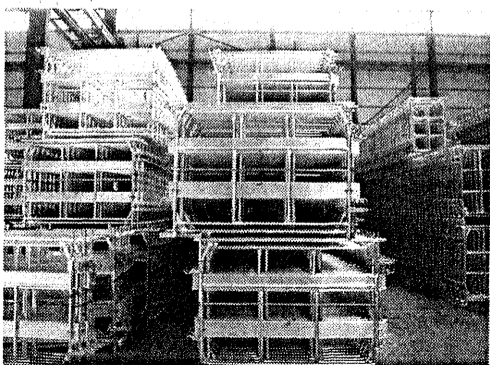
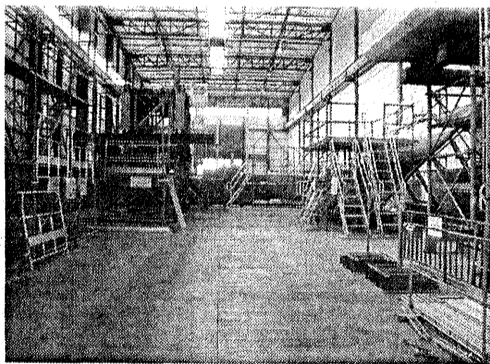
桐原 所長

敷地面積は約7万7千平方尺。機材の製造システム足場兼支保工「セフトパラペッタ棟、整備棟」のほか、(3Sシステム) オクス業務の効率化だ。強度試験や機材の設置・解体のデモンストレーションなどを行う試手すり枠などの安全機材関連の3つが主力と目には、①クサビ緊結式「セフトパラペッタ」の生産販売、リース業務の効率化だ。取り組んでいる課題の一つが「スペースの確保」。セフトパラペッタの機材保有はか

八日市事業所は、八の企業誘致で、平成元年。名神高速道路の八日市(現東近江市)年7月に「八日市事業所」から車でも併設する。また、同年、国土交通省が運営するNET100。もともと八日市事業所は、八の企業誘致で、平成元年。名神高速道路の八日市(現東近江市)年7月に「八日市事業所」から車でも併設する。また、同年、国土交通省が運営するNET100。もともと八日市事業

路の最寄りインターか材(重量支保工)なども30分程度。大阪、名古屋地区とも半径100キロ以内で、搬出入面では抜群のメリットがある。同事業所の取扱い品幅木付先行手すり枠

S(新技術情報提供システム)の平成24年度推奨技術に選定された法面用昇降設備「法面2号ユニバーサルユニット自在階段」も生産している。八日市事業所で現在注力しているのが、枠組み足場用アルミ製幅木付先行手すり枠業所は手狭感があることを考慮する必要した洗浄設備、検収整備がある。今後も随時第備の新設なども検討していく。



展示場④とセフトパラペッター

Metal & Technology

鉄鋼新聞

8月1日

2012年
 (平成24年)

水曜日

第1766号(日刊)
 日曜・祝日は休刊